

10月2日（月）CAPあさひかわから3名の方を講師に迎え、1校時から2時間続きで1年生各学級で「CAPプログラム（人権教育）」の授業を実施しました。これは今年度、旭川市が行う「人権教育プロジェクト」と銘打った、いじめ対策教育の一貫として市内各小・中学校で実施されるもので、自他の人権（安心・自信・自由）を守るための学習です。

この授業に先だって9月29日（金）本校職員もCAPあさひかわの方々を講師に、事前に人権教育の研修をし理解を深めました。

1時間目は人権が奪われる様々な例を3名の講師がロールプレイ（劇）などで示し、それを防いだり、解決する方法を教えてくださいました。

2時間目はトークタイムが設定され、1時間目で感じたこと、学んだことを各自でまとめ、疑問に思ったことや、相談したい事などがあれば、別室に待機している講師の方の所へ行き、話をする時間でした。生徒達は真剣に講師の話に耳を傾けながら、人権を守ることの重要性や、困ったときに相談することの大切さを学びました。

お忙しい中、6時間にわたってワークショップをしていただいたCAPあさひかわの講師の皆様は心より感謝申し上げますとともに、この学びを元に、自他の人権を大切にする生き方をしっかり実践できるよう生徒・教師で頑張りたいと思います。



まずは講義形式



男子が参加してロールプレイ



女子が参加してロールプレイ



まとめの時間